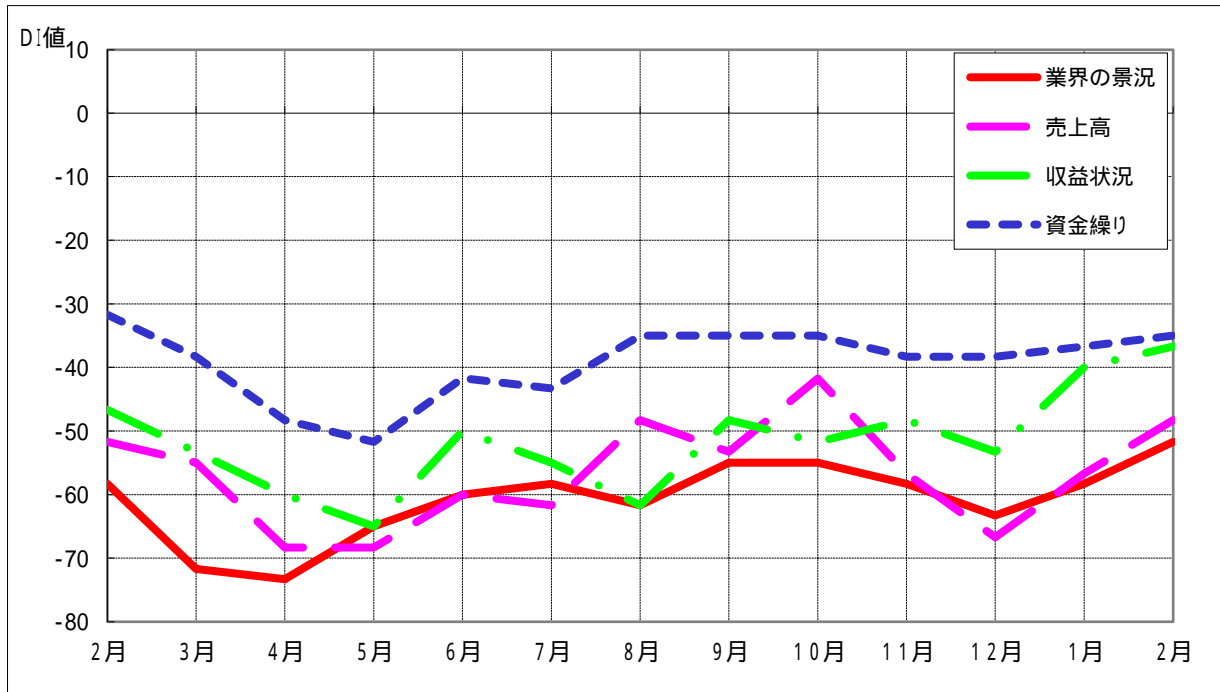


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和2年2月～令和3年2月

単位:ポイント



	R2						R3						
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
業界の景況	-58.3	-71.7	-73.3	-65.0	-60.0	-58.3	-61.7	-55.0	-55.0	-58.3	-63.3	-58.3	-51.7
売上高	-51.7	-55.0	-68.3	-68.3	-60.0	-61.7	-48.3	-53.3	-41.7	-56.7	-66.7	-56.7	-48.3
収益状況	-46.7	-53.3	-60.0	-65.0	-50.0	-55.0	-61.7	-48.3	-51.7	-48.3	-53.3	-40.0	-36.7
資金繰り	-31.7	-38.3	-48.3	-51.7	-41.7	-43.3	-35.0	-35.0	-35.0	-38.3	-38.3	-36.7	-35.0

2月のDI値は前月比で見ると、2ヶ月連続全項目で改善した。「売上高」DI値は8.4ポイント、「業界の景況」DI値は6.6ポイント、「収益状況」DI値は3.3ポイント、「資金繰り」DI値は1.7ポイント、それぞれ改善となった。また、前年同月比で見ると、3項目改善、1項目悪化した。「収益状況」DI値は10.0ポイント、「業界の景況」DI値は6.6ポイント、「売上高」DI値は3.4ポイント改善、「資金繰り」DI値は3.3ポイント悪化となった。

連絡員からは、引き続き新型コロナウイルスの影響による報告が寄せられているが、前月は大雪の影響があり、その反動で改善が見られた業種もあった。製造業においては、同業種でも取引先によって2極化が明確になっているとの報告が目立ち、非製造業においては昨年よりも悪化しているとのコメントが多く、休業および廃業となった事業者も見受けられる。

組合からの特記事項としては、製造業においては取引先の業態により2極化しており、個人消費向けと業務用で明暗が分かれている。一部では、春から夏にかけての商品は改善が見込まれるが、感染収束とワクチンへの期待が大きいようだ。非製造業においては、特に飲食業は売上の確保が困難であり廃業する事業者もあった。関東圏における緊急事態宣言の継続により、影響を受けているとの声も上がっており、4月からの消費税総額表示への変更が値下げ圧力になるのではないかと懸念されている。

コロナ禍の長期化により、収益が改善するよりも早く特別融資等の返済が始まることから、猶予期間や利子補給期間の延長が強く要望されている。